



まんだらげ

vol. **10**
2009.9

患者さまの権利

1 個人として尊重され、質の高い医療を受ける権利

個人の人格が尊重され、年齢、性別、信条、障害の有無などにかかわらず、必要かつ十分な医療を平等に受ける権利があります。

2 医療について十分な説明を受ける権利

ご自身が受ける処置・手術や検査等について、十分な説明を受ける権利があります。また、他の医療機関の医師の意見(セカンド・オピニオン)を求める権利があります

3 自分が受ける医療を自ら決定する権利

納得できるまで説明を受けたのち、ご自身が受ける医療について意見を表明し、自らの意思に基づいて決定する権利があります。

4 医療について情報提供を受ける権利

自分の病気や受けている医療について知ることができるとともに、カルテ等の開示を求める権利があります。

5 個人情報やプライバシーが守られる権利

医療に関する個人情報やプライバシーは厳正に保護される権利があります

宝龍の滝(新宮)

CONTENTS

- 診療科紹介【産科婦人科】【放射線科】
- 病棟だより/9階東病棟
- NEWS/みらい医療推進センター7月開所
サテライト診療所本町8月3日オープン
- 栄養ワンポイントアドバイス/秋サバ
- お薬の豆知識/ステロイド

広報誌「まんだらげ」の名称について

和歌山を代表する江戸時代の外科医・華岡青洲が全身麻酔薬として用いた植物「曼陀羅華(まんだらげ)」から引用しています。花に「医」の文字をデザインしたものは、本学の校章にも採用されています。

理念

私達は患者さま本位で、質の高い医療を提供し、地域の保健医療の向上に貢献します。

基本方針

1 患者さまとの信頼関係を大切にし、安全で心のこもった医療を行います。

2 高度で先進的な医療の研究をすすめ、その成果を反映した医療を行います。

3 豊かな人間性と優れた専門技術を持った医療人を育成します。

4 地域の中核病院として、和歌山の保健医療を推進します。



【産科婦人科】

お産から更年期障害まで、 女性の一生のトータルケアをめざす

当科は2005年に県内唯一の総合周産期母子医療センターとして認可されました。妊娠高血圧症候群や糖尿病などをもつ妊婦さんや双子や三つ子の妊婦さんなど、嚴重な母体管理を必要とする方々が安心して出産にのぞめるようNICU(新生児集中治療部門)と共に協力体制をとっています。

婦人科部門では、良性腫瘍では内視鏡手術を多数手がけています。また、多くの悪性腫瘍に対しては手術・抗癌剤・放射線など多彩なアプローチによって集中した治療を行い大きな成果を上げています。

このように私どもは、お産から婦人科腫瘍、ホルモ

ン異常や更年期障害に至るまで、女性の一生のトータルヘルスケアをめざして診療を行っております。いつでも安心しておまかせください。



【放射線科】

患者さん本位の医療を全力でサポートします

放射線科医は放射線科技師と共に病院を縁の下で支えています。仕事内容は①画像診断②カテーテル手術③放射線治療を担当しています。

(当院における年間実施件数)

- ①CTを約32000件、MRIを約12000件撮像し、その他単純レントゲン撮影やX線テレビ撮影、核医学検査をあわせて、専門医10名が担当領域毎に迅速に画像所見を作成しています。
- ②約1800件。うち約700件が放射線科施行分。肝動脈塞栓術を中心に大動脈瘤への血管内ステントグラフト内挿術や腰椎圧迫骨折への骨セメント注入術、なども含みます。
- ③約350患者。三次元照射や小線源治療、なども含みます。

病変の存在、鑑別、広がり、の正確な画像診断がされて初めて最適な治療方針の決定が可能になります。カテーテル手術や放射線治療は、患者さんの負担の少ない低侵襲治療として盛んに行われています。日々進歩を続ける診断・治療機器を駆使して、他の診療科とも連携し、患者さんを全力でサポートしています。



病棟だより

スタッフが一丸となり、短期間で日常生活にもどれるようにケアする

9階東病棟は、消化器外科で全50床あります。胃・腸・脾・肝臓などを切除すると消化機能が変化します。そのため食事内容、量、食べ方など患者さん一人ひとりにあった指導を栄養士と協力しながら進めます。さらに、術後は患者さんの痛みを緩和しつつ理学療法士の指導の下歩行を促し、できるだけ早く食事がで

きるようにサポートします。患者さんが短期間で日常生活ができるよう、そして1日も早く自宅に帰れるよう、スタッフ一丸となり、患者さんのケアにあたっています。



フォルテワジマ5階 中心市街地で高度医療を提供 みらい医療推進センター開所「サテライト本町診療所」8月3日オープン

和歌山市本町の複合商業施設フォルテワジマ5階に「みらい医療推進センター」を開所。7月20日開所式を行いました。関係者ら約150人が出席した開所式で当大学の南條輝志男理事長は「新しい医療をより身近に、和歌山市の中心市街地で高度な医療サービスを、県民のみなさまに提供したい」とあいさつしました。

「みらい医療推進センター」は、県民の健康増進と医療の研究の場とし、医療情報の発信と中心市街地活性化をめざしています。中核施設となるのが、予防医学に基づくさまざまな情報を提供する「げんき開発研究所」と外来診療施設「サテライト診療所本町」です。「げんき開発研究所」は、運動療法や食事療法、温泉

医学、観光医学、スポーツ医学の研究を展開します。高精度の「動作解析システム」では、高速度カメラ14台であらゆる動作の撮影や3次元の動作解析が可能で、ランニングや野球の投球フォームなど、見た目ではわからなかった身体バランスの測定ができます。

地球上に存在するすべての地域の気候や温度を人工的に作り出すことができる「人工気候室」、歩行または歩行パターンを測定する装置「床反力測定システム」など、最先端の研究機器を保有しています。



開所式であいさつをする南條理事長

疾病の治療から予防に重点

和歌山県立医科大学附属病院と連携する外来診療施設「サテライト診療所本町」は8月3日にオープンしました。診療内容は内科(糖尿病・循環器・老年・漢方)、リハビリテーション科、膠原(こうげん)病・リウマチ科、美容皮膚科を設置。なかでも生活習慣病の糖尿病や高血圧などについては栄養指導に重点をおき、健康診断でメタボリックシンドロームと診断された人には医学的に正しい生活指導、食事療法、運動療法を指導します。

また、外来専用のリハビリテーションもあり、専門医のもと、理学療法士や作業療法士が医学的評価をもと

にリハビリメニューを作成し、実践・管理します。さらに、効果判定および、その後のサポートも行います。

■問い合わせ

げんき開発研究所

TEL 073-488-1933

サテライト診療所本町

リハビリテーション科

TEL 073-488-1930



リハビリテーションルーム



診療室

参加者募集

観光医学講座「糖尿病教育観光ツアー」

11月6日(金)～8日(日)2泊3日

本学観光医学講座では、観光が体に及ぼす良い効果・悪い効果に注目しながら、次の4つの課題について研究しています。①観光資源による癒し効果の科学的検証、②医療サービスを付加した観光企画、③添乗員の教育プログラム作成、④感染症対策マニュアルの作成です。それらのなかで、患者様に直接的に関わり参加して頂いているのが、癒しと学びの教育観光の企画です。糖尿病をはじめ、脳梗塞、人工肛門、乳がんなど疾病別に患者様を対象にした「教育観光ツアー」を企画提供して

います。なかでも、糖尿病教育観光ツアーはこれまでに4回実施し、全国からのべ90名にご参加いただいています。

今年は11月に糖尿病教育観光ツアーを、またその他の疾病についても企画し、多くの方に学びと癒しを提供して治療と健康増進の支援を続けて参ります。どうぞご期待下さい。

次回の「糖尿病教育観光ツアー」のご案内

日程: 09年11月6日(金)～8日(日)〈2泊3日〉

目的地(予定): 秋深まる紅葉の高野山・慈尊院(宿坊泊)

●詳しいツアーのご案内は、ホームページ
または下記までお問い合わせ下さい。

お申し込み締め切り
10月16日(金)

公立大学法人和歌山県立医科大学

観光医学講座

TEL 073-488-1934

観光医学

検索



栄養ワンポイントアドバイス【病態栄養治療部】

秋サバ

秋の旬の魚と言えば秋刀魚が有名ですが、今回は秋サバについて紹介します。

サバは、初夏の産卵で痩せていた身に脂が乗りこの時期が1年のうちでもっとも美味しいとされています。

また、サプリメントなどでよく耳にするドコサヘキサエン酸(DHA)、エイコサペンタエン酸(EPA)を多く含む血栓予防効果があります。



美味しい新米と、サバの旨味を十分に生かした味噌煮を食卓にいかがでしょうか。

○材料 1人分=エネルギー178kcal、塩分1.4g、秋サバ70g、薄切り生姜5g、A:味噌9g、砂糖3.5g、本みりん2g、針生姜(生姜の千切り)2g

○作り方 鍋に秋サバが浸るくらいの水と薄切り生姜を入れて火にかけて煮立たせる。秋サバの皮を上に向けて鍋に入れ、火が通るまで煮た後、Aで調味する。

お皿に盛り付けて仕上げに針生姜を乗せる。

お薬の豆知識

シリーズ⑩「ステロイド」

～薬剤部から～

ステロイドとは副腎という臓器から分泌されるホルモンのことで、炎症を抑えたり、アレルギー反応を抑える作用があります。ステロイドの入った薬には花粉症に使う点鼻薬・点眼薬、アトピー性皮膚炎に塗る軟膏のほか、飲み薬や注射薬もあります。患者さんの症状によって薬の使い方も違いますが、病気の治療のためにはとても重要な薬ですので、用法・用量を守り使用することが一番大切です。薬を使っている間は、症状が良くなったと自己判断して使用を中止したり、勝手に量を減らしたりすることは絶対しないようにしましょう。

◎お手軽検査で健康チェック

血液検査で健康状態をチェックする「お手軽検査」を行っています。当院及び医療機関で受診中以外の16歳以上の方が対象です。検査料は腎機能300円糖尿病800円、肝機能1100円ほか。希望の方は2階正面玄関の県民コーナーに設置している自動券売機で検査券を購入の上、3階中央検査部受付まで。

◎附属病院への寄附について

当院ではみなさまの寄附金を受け入れています。寄附金は当院の医療技術向上のため、特に若手医師、看護師、医療技師における研究や研修支援などに活用させていただきます。

問:TEL073-447-2300(代)

和歌山県立医科大学 企画課

お知らせ

平成21年度 生涯研修・地域医療支援センター研修会

【最新の医療カンファランス】

テーマ:高齢社会を生き抜くための生活の工夫

場所:和歌山県立医科大学 図書館棟3階
(生涯研修・地域医療支援センター研修室)

日時:第2木曜(4月、8月を除く)午後3時～午後5時

■10月8日(木)

「糖尿病の運動療法について」

講師:医大・内科学第一教室准教授 佐々木 秀行(ささき ひでゆき)

講師:医大・みらい医療推進講座講師 伊藤 倫之(いとう ともゆき)

■11月12日(木)

「検査で何がわかるか」

講師:医大・臨床検査医学教室 古田 眞智(ふるたまち)

講師:医大・生涯研修・地域医療支援センター

中尾 大成(なかお たいせい)

※いずれも定員各100名、参加無料。

問:TEL 073-441-0789 和歌山県立医科大学

生涯研修・地域医療支援センター

和歌山県立医科大学附属病院広報誌 まんだらげ〈vol.10〉

2009年9月発行

発行/和歌山県立医科大学附属病院

〒641-8510 和歌山市紀三井寺811-1

TEL 073-447-2300

【ホームページアドレス】

<http://www.wakayama-med.ac.jp/hospital>

※診療スケジュールは、ホームページからご覧いただけます。

外来受付時間

・受付時間 午前8時50分～午前11時30分

・再診で予約のある方は指定時間(予約票の記載時間)

・休診日/土曜日・日曜日・祝日・年末年始(12月29日～1月3日)

電話予約センター

受付時間 月～金 午前8:30～午後4:00

【祝日・年末年始(12月29日～1月3日)を除く】

TEL 073-441-0489

電話をしていただく時間帯により、回線が大変ごみ合うことがあり、ご迷惑をおかけするかもしれませんが、ご了承ください。

次号発行は
12月です。